

■アンケート概要

アンケート概要	映画「侍タイムスリッパ」を読んだことがある方へのアンケート
調査期間	2025年07月12日
回答数	60人(20代～40代)
アンケート調査元	インターネット調査

■アンケート項目

1. 年齢を教えてください
2. 性別を教えてください
3. 映画「侍タイムスリッパ」の評価を星1～5で教えてください。
4. 映画「侍タイムスリッパ」を実際に読んだ感想を教えてください。

1. 年齢を教えてください。	2. 性別を教えてください。	3. 映画「侍タイムスリッパ」の評価を1?5で教えてください。	4. 映画「侍タイムスリッパ」を実際に見た感想(ネタバレを含む)を教えてください。
30代	男性	5	よくあるタイムスリッパものではありますが、主人公が元の時代へ戻るのではなく、現代にとどまって生活していくという展開が新鮮でした。すでに現代では侍という存在がなくなっている中で、それでも自分たちが生きた証を何か残そうとする姿勢が、とてもかっこよかったです。特に印象的だったのは、最後の真剣で戦うシーン。演出の良さと役者の方々の迫真の演技が相まって、思わず息を吞んで見入ってしまいました。
30代	男性	5	山口馬木也さん演じる新左衛門の活躍に期待して見ることができました。笑えるシーンがある、泣けるシーンがあるような良い映画でした。
60代	男性	5	見て感じたのは、とにかく、すなおに楽しい、ということです。「わくわく感」と言ってもいいです。それって、エンターテインメント映画の一番大切なことではないでしょうか。あと、クライマックスの殺陣のシーンは迫力がありません。ふたりがにらみ合って、まったく動かない、いや、動けない。まさに固唾をのむシーンでした。
40代	女性	4	幕末から現代にタイムスリッパしてきた侍が、時代劇の斬られ役で生計を立てて現代に戸惑いながらも頑張っていく姿が面白かった。ユーモアがあってほっこりする映画でした。
20代	女性	2	特に何も思いませんでした、
60代	男性	4	とても面白く、興味を持って最後まで観賞した。真面目に考えると、昔の侍が作品中にあるように現代に順応できるか？普通に殺人を犯すのでは？と勘ぐってしまうが、逆に純粋な侍だからこそ、あのような行動になるのかな？と色々考察ができて、いい作品だと思う
60代	女性	5	時代劇のタイムスリッパ版と軽く思いきや現代で斬られ役として生きていくことの葛藤や撮影所での大部屋のエピソード、京都での撮影の難しさ、時代背景など笑いあり、涙ありで今までにない時代劇を作り上げたと思いました。
60代	男性	4	役者の人は有名な方はあまり出ていませんでしたが、ストーリー的には十分面白く、楽しめる内容でした。
40代	男性	4	途中まではよくあるタイムスリッパ物でところどころクスツと笑える要素はあるものの、正直少し退屈でした。風見恭一郎という大御所俳優が実は冒頭に殺しあつた相手と分かってからは、そう来たかと思って引き込まれました。最後の決闘のシーンはどういう終わり方をするのだろうと。手に汗をにぎりました。
50代	女性	5	主人公の会津なまりの演技が本物っぽくてとても素晴らしかった。クスツと笑えるシーンもあるし、泣けるシーンもあるし、コメディ要素とシリアスな部分のバランスが絶妙。予算のない映画とは思えない日本が誇る素晴らしい映画だと思う。
40代	女性	4	侍が現代でエキストラの侍をするというのが斬新だと思った。風見との過去の因縁で最後決着つくかと思いきや予想通りの展開で少しだけ残念でした。
30代	女性	4	前半は侍が現代でテンパったりして笑えたけど、後半から急にシリアスになってびっくりしました。ギャップがあってストーリーにも引き込まれ最後まであつという間の時間でした。
30代	女性	3	タイトルで面白そうだと思い視聴しましたが、私にとっては途中から眠たくなるような展開でした。タイムスリッパして最初は面白かったのですが、でてるキャストの方たちもあまり分からない人ばかりで興味が持てなかったのもあると思いますがあまり展開が私にとってははいまいちだったので3にさせていただきました。
20代	男性	4	現実社会が見えてくるストーリーでした
50代	男性	3	主役、脇役ともに自然体の演技がうまく、キャラクターに存在感があり、飽きない。
40代	女性	4	笑いと感動が絶妙に交錯する素晴らしい作品でした。幕末の侍が現代で“斬られ役”として新たな生き方を見つけていく姿に胸を打たれます。クライマックスの真剣勝負は息を吞む迫力で、観る者の心を揺さぶります。侍の誇りと人間の成長を描いた、心温まる名作だと思います。
20代	女性	4	俳優さんや製作費ではなく内容そのものの面白さだけで十分満足できる作品です最後の最後までオチを楽しめます
40代	女性	4	クスツと笑えるし、侍の心の強さも感じられて最高でした。
30代	男性	3	タイムスリッパと時代劇の融合が新鮮で面白かったと感じました。現代と江戸時代の文化の違いが生み出すユーモアに何度も笑ってしまいました。だけど、ストーリー展開が少し駆け足に感じられ、もう少し掘り下げてほしかったと思う部分もありました。
30代	女性	5	気軽に見たのですがとてもよく練っている話で感動しました。主人公が時空を超えるのですがそのことについて人に言わないとかばれないようにしています。どこにいても自分を見失わない芯のある人物象でした。あとで調べてモデルのいることや映画の成り立ちを知り、より素晴らしい作品だと思います。
20代	男性	4	マジで“時空”を超えたら人ってどうなるのか、つてのを侍目線で描いてくるのが面白すぎた。最初は「なんで侍が現代に？」ってツツコミたくなるんだけど、観てくうちにだんだんそのズレとか違和感すらクセになる
30代	女性	4	凄く面白くて感動しました

30代	女性	4	時代劇×SFの組み合わせが想像以上に面白くて、最後まで引き込まれました！江戸時代に現代人がタイムスリップする設定はありがたいけど、主人公が逆に未来に行く展開は意外で新鮮でした。特にラスト、侍がAIと対峙するシーンは迫力があり、ただのアクション映画じゃない深みも感じました。
60代	男性	5	映画『侍タイムスリッパ』は、丁寧な映像作りと緩急のあるテンポで観客を飽きさせず、笑いとしリアスを絶妙に融合させた作品として高く評価されています。特に、侍が現代にタイムスリップして時代劇撮影所で斬られ役として奮闘する設定が新鮮で、古さを逆手に取った脚本の巧みさが光ります。殺陣シーンは本格的で緊迫感があり、主演の山口馬木也をはじめ役者の真剣な演技が作品に深みを与えています。物語は単なるコメディにとどまらず、時代を超えた覚悟や人間ドラマを描き、観る者の心を動かすカタルシスを生み出しています。一方で、ノスタルジーに偏りすぎているとの指摘もあり、現代の時代劇を持ち上げる要素が強い点は賛否が分かれるところです。しかし、多くの観客は笑い感動を同時に味わえる作品として絶賛し、低予算ながら脚本・演技・スタッフの力量が光る傑作と評価しています。
50代	男性	4	最後の二人の決闘のシーンがどこまで真剣か、撮影の演技なのか、わからない迫力があって盛り上がった
20代	女性	5	有名な俳優さんが出ている訳ではないし、侍がタイムスリップするというテーマにあまり期待していなかったが、かなり面白かった。笑いもあるが、ストーリーもよく考えられていてよくある展開と異なる点も良かった。
40代	女性	4	本物の侍が映画の切られ役として活躍するちょっと変わったお話で主人公が現在にじわじわと慣れていく感じがとても面白くてどんな感じで物語が終わるんだらうと楽しく見ることが出来ます。どんな年齢の方にも楽しめる秀作だと思います
30代	女性	5	雷に打たれてタイムスリップは古臭いと思ったけど、全部見ると面白かった。人情溢れる映画だった。
30代	女性	4	時代劇愛に溢れた映画でした。殺陣のシーンがとても迫力があり、かっこよかったです。主演の俳優さんが素晴らしいです。
60代	男性	4	江戸時代の侍が、現代社会の文化に触れる中で、侍としての誇りや威厳を保ちつつ順応していく姿が、ユーモラスに描かれていてとても面白かったです。
40代	男性	4	幕末、会津藩士高坂が落雷にあい、140年後の現代の京都の時代劇撮影所にタイムスリップ。斬られ役として活躍する高坂とタイムスリップ直前に暗殺しようとしていた山形。映画を舞台に真剣勝負を行うことに...というストーリーで、とても楽しく拝見しました。映画好きが集まって作った作品というのがわかり、かつ、優子の高坂に対する思いも素敵だなあと感じていました。次回は妻(時代劇は好きではないですが(笑))と一緒に見たいと思わせる内容でした。
60代	女性	5	ストーリー展開がとても面白かったし、主役があまり知られていない俳優さんだが、素朴な武士そのものよかったです。
20代	女性	4	最後の撮影で新左衛門と恭一郎が本物の刀で戦うシーンが特によかったです。勢いがすごく幕末での戦いを見ているようで、本当に斬ってしまうのではと息を呑んで見つめてしまっていました。最後の最後に新左衛門の部下の武士がまたタイムスリップしてきたので、もしかしら続編が出るのではとほんの少し期待しています。
30代	女性	4	アカデミー賞で話題になっていたのが気になって見ました。低予算ながら見ていると楽しい、コメディながら感動要素もありしっかりメッセージ性もある作品でした。
40代	女性	4	幕末の侍・高坂新左衛門が現代にタイムスリップし、時代劇の斬られ役として生きながら武士の誇りを貫く姿が描かれた感動作です。前半は笑えるシーンも多くコミカルですが、後半はかつての戦友・彦九郎との再会や、現代で生きることを選ぶ決断が重みを増し、特にラストの長回しの殺陣と古い写真の演出が胸に残ります。侍の魂と現代人の心をつなぐ、静かで力強い映画でした。
10代	男性	4	主人公の侍が現代の技術や価値観、人間関係などに触れ、戸惑いながらも信念を貫く姿勢が面白いところであった。また、時代のギャップを活かした笑いも面白いポイントであった。
50代	男性	3	江戸時代から今の時代にタイムスリップしたのが面白い
20代	男性	3	すごく面白かったです。
60代	男性	4	侍が雷に打たれ撮影中の映画村にタイムスリップし、切られ役になり真剣に役をこなし、出世していくストーリーです。そのなかで、努力していれば、きっと誰かが見ていてくれる。ということが良く描かれていて、現在の生き方にも言えることだと思います。
30代	男性	5	配役や製作費を見てあまり期待していませんでしたが、とても楽しむことができました。期待していなかった分、作り手の情熱に圧倒されました。
50代	男性	5	子供の頃に時代劇をみていたアラフィフ世代の自分にはハマりました。高坂がこの時代に驚くところは面白かったですし、仇敵だった男と共に時代劇を復活させようと頑張る姿がかっこよくて楽しめました。
30代	男性	4	主役の山口馬木也の演じる真面目さが逆におかしさを引き立てていて、応援せずにはられないです。
40代	女性	4	まず、ありそうでなかった設定が面白く感じました。映像のクオリティやスケールは低予算感があるものの、コメディでありながら感動する要素もあり、じんわりと胸が熱くなる作品だと感じました。
40代	男性	4	時代劇愛が伝わってきました。ラストは涙が溢れそうでした。日本アカデミー賞の放送を見ましたが驚きました。作品賞を獲ったのにほとんどノータッチでした。
30代	女性	5	男性陣の演技力が安定していました。最後の殺陣は魂を感じます。必見。
30代	男性	4	キャラクターが魅力的で面白かったです。
40代	男性	3	コンセプトは面白いしコメディ的にも楽しめた。伝えたいメッセージは許すことの大切さのかな。今のキナ臭い世の中に大事なものです。
30代	男性	3	過去でなく未来に侍がタイムスリップして映画撮影に協力するというのはなかなか見たことがないストーリーで面白かったです。作品としては結果でなく信念を持ち合わせることに大切さを説いた作品なのかなと感じました。続編を匂わせる終わり方もよかったです。
20代	女性	4	ユーモアに溢れた作品で、安心して見る事が出来ました。時代劇好きにはたまりません。
40代	男性	4	侍のタイムスリップ設定を活かしつつ、武士の誇りと現代人の心の交流が非日常感を誘い、笑って泣ける良作でした。
60代	男性	5	手作り感満載ですが、俳優たちの熱量が伝わってくる傑作だと思います。ヒロインの天使のような言動に癒されました。
30代	女性	4	時代劇への愛情がめちゃくちゃ伝わってくる、素晴らしい作品でした。日本アカデミー賞を獲っているのに期待しすぎてしまったけれど、インディーズ映画だから凄いならうな。
40代	女性	3	侍が現代に現れてさまざまなものに驚いたり戸惑ったりする前半は笑えてよかったです。役者として時代劇に出て生活していくことになり、殺陣を習うのですが、殺陣の先生がとても味があっておもしろかったです。後半は同じようにタイムスリップしてきた宿敵と戦うのですが、昔の時代の真剣での戦い方は殺陣とは異なるはずなのに殺陣をしていてとても違和感があり、がっかりしました。
30代	女性	4	今までにない新鮮味のあるストーリーでドキドキしながら読むことができました。また機会があれば観たいです。
30代	女性	4	終始楽しく見られた。ラストに驚いた。
30代	男性	5	山口馬木也の演技がすごく良かったです
20代	男性	5	時代劇とSFが見事に融合した傑作。斬新な設定とテンポの良い展開に引き込まれ、最後まで飽きずに楽しめました。特に現代と江戸時代を行き来する描写がリアルで、侍の葛藤や成長にも感情移入できました。音楽や殺陣もクオリティが高く、何度でも見たい作品です。
30代	男性	5	最初から最後まで時代劇へのリスペクトが伝わってくる作品であり、殺陣のシーンの迫力に心を揺さぶられました。
50代	男性	4	公開時、最初は単館上映と聞いていたこともあったのですが、映像自体はチープ感を感じられるものの、お話はスピーディで面白かったです。幕末？時代の3名の武士が、それぞれにタイムラグを持って、現代にやってくるというアイデアはよくできていると感じました。

30代	女性	4	<ul style="list-style-type: none">・高坂新左衛門の現実を受け入れる力がすごい。・侍魂を持っているから、何に対しても実直で質実剛健。・テレビを観て世界に入り込み、感動しているシーンもおもしろかった。・どことなく、テルマエ・ロマエを思い出す作品。
-----	----	---	---